

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公開番号】特開 2004-130778 (P2004-130778A)  
 【公開日】平成 16 年 4 月 30 日 (2004.4.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-017  
 【出願番号】特願 2003-204478 (P2003-204478)  
 【国際特許分類】

**B 4 4 C 1/175 (2006.01)**

【F I】

B 4 4 C 1/175 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 水溶性もしくは水膨潤性の樹脂から成る支持体フィルムと、前記支持体フィルム上に設けた有機溶剤に溶解可能な疎水性の転写層を有し、前記転写層が活性エネルギー線照射で硬化可能な硬化性樹脂層を有する水圧転写用フィルムを、前記転写層を上にして水に浮かべ、前記水圧転写フィルムに被転写体を押し付け、有機溶剤によって活性化させた前記転写層を前記被転写体に転写した後、前記被転写体に転写された前記水圧転写フィルムから前記支持体フィルムを除去した後、活性エネルギー線を照射して、転写された硬化性樹脂層を硬化させる水圧転写体の製造方法であって、前記被転写体に前記転写層を水圧転写後であって、前記支持体フィルム除去前に活性エネルギー線を照射して、前記硬化性樹脂層の一部を硬化させる工程を有することを特徴とする水圧転写体の製造方法。

【請求項 2】 前記硬化性樹脂層の一部を硬化させる工程で照射する活性エネルギー線の照射強度が、前記硬化性樹脂層を硬化させるのに要する活性エネルギー線の照射強度の 0.1%～40%である請求項 1 記載の硬化樹脂層を有する水圧転写体の製造方法。

【請求項 3】 前記転写層が前記硬化性樹脂層と、印刷インキ皮膜または塗料皮膜からなる装飾層で構成される請求項 1 または 2 に記載の硬化樹脂層を有する水圧転写体の製造方法。

【請求項 4】 前記硬化性樹脂層の一部を硬化させる工程が、水中にある水圧転写体に、活性エネルギー線を照射して前記硬化性樹脂層の一部を硬化させる請求項 1～3 のいずれかに記載の硬化樹脂層を有する水圧転写体の製造方法。

【請求項 5】 前記水槽が底と壁の少なくとも一部に活性エネルギー線照射用の窓を有し、前記窓を通して、水中にある前記水圧転写体に活性エネルギー線を照射する請求項 4 に記載の水圧転写体の製造方法。

【請求項 6】 請求項 5 記載の水圧転写体の製造方法に用いる活性エネルギー線照射用の窓を有する水槽であって、水圧転写を行う水圧転写用区域と水圧転写体に活性エネルギー線を照射する活性エネルギー線照射用区域を有し、前記水圧転写用区域と活性エネルギー線照射用区域との間に活性エネルギー線遮蔽板が設けられている水圧転写用水槽。

【請求項 7】 活性エネルギー線照射用の窓を有する水圧転写用水槽と、前記窓を通して水圧転写用水槽内の水圧転写体に活性エネルギー線を照射可能な活性エネルギー線照射装置とを備えた水圧転写装置。

【請求項 8】 水圧転写用水槽が水圧転写を行う水圧転写用区域と水圧転写体に活性エネルギー線を照射する活性エネルギー線照射用区域を有し、前記水圧転写用区域と活性エネルギー線照射用区域との間に活性エネルギー線遮蔽板が設けられている請求項 7 に記載の水圧転写装置。